

福岡県信用保証協会

I 法人の概要（令和5年4月1日現在）

- 1 所在地 福岡県福岡市博多区博多駅南二丁目2番1号
- 2 設立年月日 昭和24年3月29日
- 3 代表者 会長 山崎 建典
- 4 基本財産 72,649,590千円
- 5 北九州市の出捐金 437,070千円（出捐の割合 0.60%）
- 6 役員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	20人	0人	0人	20人
常 勤	5人	0人	0人	5人
非常勤	15人	0人	0人	15人
職 員	180人	0人	0人	180人

II 令和4年度事業実績

令和4年度の県内の景気動向は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しの動きがみられますが、世界的な物価高騰や欧米各国の金融引き締め等による景気の下振れが懸念される状況となりました。

県内の中小企業においても、持ち直しの動きがみられますが、コロナ禍の長期化や物価高騰、人手不足の影響等もあり、県内企業の倒産状況（負債総額1千万円以上）は年度後半にかけて増加傾向となりました。

当協会を利用する中小企業・小規模零細企業においても、過剰債務を抱えた企業や業績回復が遅れている企業も多く、依然として厳しい状況が続きました。

保証部門では、コロナ禍の長期化に加え、物価高騰の影響等も生じていることから、中小企業者の資金繰りに支障を来さないよう、企業訪問等を通じて企業実態及びニーズの把握を行い、金融機関、関係機関と連携し、迅速かつ適切な資金繰り支援に努めました。

また、ゼロゼロ融資の元金据置が終了し、返済を開始する予定者に対して、借換制度や物価高騰対策に係る自治体制度融資、経営支援メニューを記載したダイレクトメールを送付するなど、事前に周知を図りました。

回収部門については、無担保求償権の増加を想定し、回収体制や人材育成の強化に努めました。

代位弁済後の初動を徹底し、求償権関係者の実態把握や回収可能性の早期見極めを行いました。また、一定期間回収努力を行った求償権については、再評価を行い、回収見込みがないと判断される案件については、速やかに管理事務停止や求償権整理を行うなど、回収可能性に応じた効率的な管理・回収を行いました。

以上の結果、令和4年度の決算における収支差額は61億6百万円となりました。

【保証承諾・代位弁済等の状況】

区 分	項 目	令和 4 年度	前年比
保 証 承 諾	件 数	19,043 件	89.8%
	金 額	235,680 百万円	88.8%
期末保証債務残高	件 数	132,655 件	97.9%
	金 額	1,558,157 百万円	93.2%
代 位 弁 済	件 数	1,480 件	169.3%
	金 額	15,751 百万円	152.1%

【求償権回収等の状況】

区 分	項 目	令和 4 年度	前年比
求 償 権	完済件数	39 件	69.6%
	回収額	763 百万円	121.6%
	償却件数	936 件	87.2%
	償却額	13,110 百万円	152.3%
期 末 求 償 権	件 数	1,622 件	145.2%
	金 額	5,757 百万円	148.1%

Ⅲ 令和4年度決算

1 貸借対照表

令和5年3月31日現在（単位：円）

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	805,386	基本財産	72,649,590,512
現金	805,386	基金	11,053,269,425
預け金	51,034,094,047	基金準備金	61,596,321,087
当座預金	124,599,637	収支差額変動準備金	36,197,574,921
普通預金	10,998,835,497	責任準備金	10,280,461,335
定期預金	39,900,000,000	求償権償却準備金	1,669,598,610
郵便貯金	10,658,913	退職給与引当金	1,349,637,962
有価証券	102,711,821,085	損失補償金	44,150,911,761
地方債	35,197,921,085	保証債務	1,558,157,484,742
社債	67,500,000,000	雑勘定	42,736,271,536
株式	13,900,000	仮受金	10,596,858
動産・不動産	2,425,409,256	保険納付金	309,748,546
事業用不動産	2,314,324,570	損失補償納付金	147,340,391
事業用動産	111,084,686	未経過保証料	42,237,917,453
損失補償金見返	44,150,911,761	未払保険料	4,397,562
保証債務見返	1,558,157,484,742	未払費用	26,270,726
求償権	5,756,840,007		
雑勘定	2,954,165,095		
仮払金	12,511,635		
厚生基金	31,137,000		
連合会勘定	349,137		
未収利息	111,680,117		
未経過保険料	2,798,487,206		
合 計	1,767,191,531,379	合 計	1,767,191,531,379

2 収支計算書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日（単位：円）

科 目	金 額
経常収入	16,442,640,153
保証料	13,070,234,732
預け金利息	9,404,990
有価証券利息配当金	461,052,651
損害金	70,468,901
事務補助金	2,289,842,169
責任共有負担金	498,582,000
雑収入	43,054,710
経常支出	9,812,887,103
業務費	2,962,440,511
役職員給与	1,463,329,292
退職給与引当金繰入	97,884,927
その他人件費	301,337,366
旅費	8,057,615
事務費	789,868,533
賃借料	59,086,610
動産・不動産償却	64,044,619
信用調査費	15,474,976
債権管理費	105,360,335
指導普及費	23,580,938
負担金	34,415,300
信用保険料	6,850,446,592
経常収支差額	6,629,753,050
経常外収入	24,542,397,792
償却求償権回収金	203,516,287
責任準備金戻入	10,688,583,338
求償権償却準備金戻入	1,272,670,706
求償権補てん金戻入	12,367,425,982
保険金	11,252,267,801
損失補償補てん金	1,115,158,181

その他収入	10,201,479
経常外支出	25,065,966,144
求償権償却	13,110,363,058
雑勘定償却	4,328,414
退職金	1,214,724
責任準備金繰入	10,280,461,335
求償権償却準備金繰入	1,669,598,610
その他支出	3
経常外収支差額	△523,568,352
当期収支差額	6,106,184,698
当期収支差額変動準備金繰入額	2,400,000,000
基本財産繰入額又は基本財産取崩額	3,706,184,698

IV 令和5年度事業計画

令和3年度から令和5年度までの3年間をポストコロナに向けた重点取り組みの期間と位置づけ、依然として厳しい状況が続く中小企業者に対する迅速かつ適切な資金繰り支援や、経営状況が悪化した中小企業者に対する金融機関及び支援機関等と連携した経営支援に取り組む。

またコロナ禍において、社会全体の行動様式の変化や金融機関業務の電子化など協会を取り巻く環境は大きく変化し、国や自治体、金融機関をはじめとして各方面でデジタル化による手続きの見直しが進められており、保証協会としてもデジタル技術を活用した業務効率化を進めていくこととし、中小企業者への速やかな融資実行や非対面かつ迅速な手続きを行うための保証業務の電子化や、中小企業者と金融機関の利便性向上のための押印レス化などに積極的に取り組む。

さらに中小企業のベストパートナーとして「信用保証」によりその経営の安定と繁栄を支援し、地域経済の発展に貢献するとともに、中小企業・小規模事業者の金融の円滑化、経営支援等に資するため、業務に取り組んでいく。

(単位：百万円、%)

	金額	対前年度計画比	対前年度実績見込比	積算の根拠（考え方）
保証承諾	260,000	118.2	123.8	<p>【保証承諾】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度はゼロゼロ融資の返済開始がピークを迎え、同制度の借換えや償還分の再調達が見込まれるため、県内中小企業者の借換えを含めた資金需要や足元の保証承諾状況等を勘案し、計画額は2,600億円とした。
保証債務残高	1,330,000	86.9	85.8	<p>【保証債務残高】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度はゼロゼロ融資の返済開始がピークを迎えることや、利子補給期間の終了により、繰上完済を含めた償還の増加が見込まれる。県内中小企業者の借換えを含めた資金需要に積極的に取組むが、保証債務残高については、今後も減少基調にて推移することが見込まれるため、計画額は1兆3,300億円とした。
代位弁済	28,000	140.0	175.0	<p>【代位弁済】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故・代位弁済は、過去の経済危機時と比べて低位に推移しているが、コロナ禍の長期化等により、足元では増加傾向に推移している。今後は、コロナ禍の長期化に加えて、物価上昇の影響やゼロゼロ融資の返済開始がピークを迎えることなどから、代位弁済増加が見込まれるため、計画額は280億円とした。
実際回収	2,700	96.4	94.7	<p>【実際回収】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代位弁済の増加を見込むものの、無担保や経営者保証に依らない保証の割合が増加し、回収可能な求償権の割合低下が見込まれることから、計画額は27億円とした。

V 役員名簿

令和5年5月23日現在

役職名	氏名	備考
会長	山崎建典	
副会長	谷川浩道	福岡県商工会議所連合会 会長
専務理事	山崎巖	
常務理事	岩永龍治	
//	日山尚之	
理事	鹿嶋一彦	
//	見雪和之	福岡県 商工部長
//	渡邊美穂	福岡県議会議員
//	高島宗一郎	福岡市長
//	武内和久	北九州市長
//	原口新五	久留米市長
//	花田稔之	福岡県商工会連合会 会長
//	桑野龍一	福岡県中小企業団体中央会 会長
//	五島久	福岡銀行 頭取
//	村上英之	西日本シティ銀行 頭取
//	佐藤清一郎	筑邦銀行 頭取
//	嘉藤晃玉	北九州銀行 頭取
//	荒木英二	福岡中央銀行 頭取
//	三浦玲	商工組合中央金庫 福岡支店長
//	野村廣美	福岡県信用金庫協会 会長
監事	上野順治	
//	豊永明壽	福岡県警察 本部ピアサポーター
//	行正晴實	行正晴實公認会計士事務所長

順不同敬称略